

	発行者の略号	東書	教出
	書名	新編 新しい社会 歴史	中学社会 歴史 未来をひらく
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①「主体的・対話的で深い学び」を通じて、持続可能な社会の実現に向けて「今を問い、未来をともに拓く力」を育てる。	①小学校での学習との接続も意識し、歴史の学び方・調べ方を確実に身に付けられるように工夫した教科書。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①スキルアップでは、XチャートやWチャート、くらげチャートなどの手法を幅広く紹介しており、これらを利用して知識を確実に定着させることができる。 ②各単元や節ごとに明確な課題が設定され、それらに対して考え、表現する機会が豊富に用意されている。 ③現代の日本で起きている課題、例えば持続可能な開発目標や領土問題などが取り上げられ、より良い社会を築くための態度と意識を身につけることができる。	①学習したことを整理しながらまとめる「確認」のコーナーが設けられ、学習事項の確実な定着が図られるように構成されている。 ②「Q」のコーナーが適宜設けられ、地図・グラフ・絵・図解などの資料を読み取って考察する学習活動が重視されている。 ③各章の通史学習においても、導入の「学習のはじめに」で資料が大きく掲載され、生徒自ら資料を読み取りながら、章の学習を見通して進められるよう工夫されている。
	(4) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章や単元には、自発性と対話性を重視し、深い学びを促す構造が整えられている。	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①各単元には、探究課題を立てる導入部、課題を追求する内容、そして解決をまとめる活動が組み込まれている。 ②教師側がカリキュラム・マネジメントを計画しやすいように、工夫が凝らされている。 ③思考し判断し表現するための問いが提示されている。 ④日本の国宝や重要文化財が紹介され、伝統や文化を尊重する態度を醸成できる。 ④複数の資料を通じて、文化や伝統に触れやすくなっている。 ⑥年表を通じて、小学校の学習を振り返り、時代の学習にスムーズに移行できる配慮がなされている。 ⑦近代以降のメディア発達の影響や社会の内容に触れ、現代的な諸課題の解決に情報や技術が果たす役割を考えさせることができる。 ⑧Dマークコンテンツを活用し、つまずきやすいポイントでデジタルコンテンツが用意されている。	①「歴史の技」のコーナーでは、個人やグループでの活動を通じて、歴史の学習で身に付けたい技能や表現力を養えるよう配慮されている。 ②「特別の教科道徳」に示された内容について、社会科の目標や学習内容と関わらせた指導を効果的に行うことができるように構成されている。 ③文章は平易な表記・表現に徹し、側注には「用語解説」を掲載するなど、読解に負担がかからないように配慮されている。 ④多文化共生への理解と、郷土や日本への愛着を深める学習活動が重視されている。 ⑤各章末の「学習のまとめと表現」の中の問いなどで、問いへの考察に際して「見方・考え方」をはたせられるように工夫されている。 ⑥「小学社会 6」のキャラクターが中学生に成長した姿で紙面に登場し、学びあう意識が連続するように工夫されている。 ⑦タブレット型端末など ICT 機器の多様な活用例を、学習内容に応じた写真やイラスト、動画などで紹介している。 ⑧生徒の日常生活や経験と関連の深い身近な話題・内容が多く取り上げられている。
	(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①テキストには目に優しいUDフォントと柔らかな色彩が採用されている。例えば、青や緑など、リラックス効果のある色が使われている。 ②情報を効果的に配置することで、生徒が飽きずに興味を持ち続けるような工夫がなされている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	①学習の導入から、課題の設定と追究、まとめに至る構成と記述が一貫しており、学習事項の確実な定着を図ることができる。 ②主要な文字にはふりがなをつけるなど、教育的に配慮を施した書体を用いている。 ③写真・イラスト・地図など資料が豊富に掲載され、出典と併せて視覚的に捉えやすく配置されている。
イ 教科・種目別の観点	①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①学習課題の設定や「見方・考え方コーナー」などにより、1時間の学習の見通しが明確になっている。 ①資料が大きく配置されているため、見やすく、また考えやすい環境が整えられている。	①「歴史的な見方・考え方」の視点や方法については、冒頭の「歴史にアプローチ」で小学校からの接続もふまえて明示され、本編各章の学習で「見方・考え方」に留意して、それをはたかせながら学習を深めていけるように配慮されている。
	②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②探究課題を解決する際に、キャラクターの会話を通してアプローチすることで、生徒が問題に対して理解しやすくなっている。例えば、物語形式の場面設定やキャラクターの対話によって、抽象的な概念を具体的に捉えることができる。 ②多様な思考ツールが紹介されており、生徒が自分の考えを整理しやすい環境が提供されている。	②コラム「歴史の窓」が設けられ、歴史を多面的・多角的に考察・理解することができるように工夫が図られている。
	③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③各単元では、問いが提示され、生徒が考え、表現する機会が設けられている。 ③各単元に、探究課題を立てる導入、課題を追究する内容、そして解決をまとめる活動が組み込まれている。	③「学習のまとめと表現」に、グループによる学習活動がバランスよく設置されている。教え合いや学び合いによる協働学習をもとに、多角的に理解し、考察を深めることによって、新たな知識の習得や生徒の学習意欲を向上させる工夫が図られている。

	発行者の略号	帝国	山川
	書名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	中学歴史 日本と世界 改訂版
（ア） 教科・種 目に共通な 観点	①編集の趣旨と工夫	①「歴史をつくってきた人々の姿」から未来を考えていけるような教科書づくり。	①新教育課程における歴史教育に向け、高校生向けに培ってきた歴史教育の深い学びのためのクオリティを中学教科書に生かしている。
	（7）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①見開き1時間分の内容が、「導入」→学習を見通す「学習課題」→振り返る「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化されており、基礎的な知識の習得がしやすい。 ②「説明しよう」のコーナーが設定されており、繰り返し取り組むことで、思考力・表現力・判断力等が身につくように配慮されている。 ③未来の社会をつくるために参考となる先人達の取組を、環境・交流・人権・平和の4つの視点から紹介している。	①各単元が、導入の発問→本文→ステップアップによる振り返りという流れで統一されており、知識・技能を身につけやすい工夫がある。 ②「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」のページを始め、課題や発問が工夫されている。生徒一人ひとりが課題を追究し、探究できるものとなっている。 ③大きな紙面（AB判）を利用して図版を大きく、見やすくし、発問によって、どこに注目すべきかを示唆している。「身近な地域を調べよう」のコーナーがあり、生徒が自身の地域を主体的に学んでいけるような内容になっている。
	（4）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。
	（ウ）内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①章・節・見開きという三部構成をとっており、それぞれ問いと振り返りを設け、見通しを持って学習できるようにしている。 ②本文ページ下段に、「小学校・地理・公民との関連」コーナーが設けられ、他分野との関連が図られている。 ③さまざまなコーナーがあり、毎時間言語活動を繰り返し行えるような工夫がされている。 ④文化史のページは、大きな資料と丁寧な説明により、理解を深められるような配慮がされている。 ⑤「タイムトラベル」のページで、歴史の疑似体験をすることができる。 ⑥年表で小学校の学習を振り返り、スムーズに時代の学習に入ることができるよう配慮されている。 ⑦情報通信技術の発展や人工知能（AI）の発達が社会に与える影響や今後の課題を考えられるようなページを設けている。 ⑧具体例や説明を補足する図解などがあり、基礎的・基本的な学習が定着しやすくする工夫がある。 ○ 学習内容ごとに学習課題があり、最後に確認があり、定着しやすい工夫がある。	①資料を掲載することにより、歴史における資料の重要性を学ぶことができる。また、資料には発問を付し、主体的に取り組める工夫が見られる。 ②北方領土などの日本の領土については地理的分野、主権者教育では公民的分野と関連させている。 ③本文に出てくる難しい用語には同じページに「用語解説」や注をつけ、生徒の理解を助ける工夫がされている。 ④各時代の文化に関する記述が複数あり、特色を考察しやすくする工夫がある。 ⑤「身近な地域を調べよう」「地域からのアプローチ」で、体験学習の充実を図っている。 ⑥全体を通し、小学校で学んだ人物・歴史の知識を踏まえて学べるような記述になっている。また、色を分けることで高校の「歴史総合」につながる部分であることを意識させている。 ⑦ICTを活用した調査発表の仕方を「身近な地域を調べよう」に掲載している。 ⑧本文が詳細に記述されているので、読むだけでも分かる構成になっている。また、資料には番号がつけられ解説をわかりやすく掲載している。 ○ 各単元が、導入の発問→本文→ステップアップによる振り返り、という流れで統一されている。
（エ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね良好である。 ②資料を配置することによって飽きないような工夫がされている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	①概ね良好である。 ②資料を配置することによって飽きないような工夫がされている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	
（イ） 教科・種 目別の 観点	①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①「タイムトラベル」の中で「前の時代と比べてみよう」というコーナーが設けられており、歴史的な見方・考え方を働かせながら時代の特色を考えることができる。 ①多面的・多角的に日本の歴史を捉える視点として、中央の歴史だけでなく地域史を重視している。	①歴史が変化する過程でおこる諸課題がどのように解決され、積み重なってきたのかを学び、時期・推移・因果関係・差異から考えることで、歴史的思考を養う工夫をしている。
	②社会的な事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②「多面的・多角的にかんがえてみよう」が3テーマ設けられている。 ②一つの歴史的事象について、さまざまな立場の人々の見方を示す資料を掲載している。	②歴史が変化する過程でおこる諸課題が、どのような時代を背景に生まれ、どのような影響を及ぼしたのか考えることができる工夫がされている。
	③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③単元を貫く「章の問い」「節の問い」や「章の学習を振り返ろう」というように問いが構造化され、自然に課題解決学習ができる構成になっている。 ③見通し・振り返り学習がしやすい構造になっており、「章の問い」に対してステップ1からステップ3までの段階的な道筋をつけて考えられるように工夫している。	③章のまとめのページでは、時代全体を俯瞰して考えさせるための問いを用い、歴史的転換点や、変化していくことを改めて考えることができる。現代の課題について、「地域からのアプローチ」「今日の世界」「現代の日本と世界」に掲載している。

	発行者の略号	日文	自由社
	書名	中学社会 歴史的分野	新しい歴史教科書
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①「新しい時代を担う主権者を育てる」を基本理念とし、国家・社会の形成者として必要な資質・能力の育成を図っている。	①国民としての自覚を持って国際社会で主体的に生きる力を育てることを基本方針としている。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①授業1時間＝見開き2ページ構成になっており、見開きで何を学習するのかが、明確になっているため、問題解決学習に取り組みやすく、習得した知識を言語化しやすくなっている。 ②学習課題の理解を深めるため、歴史的な見方・考え方を働かせる問を「深めようコーナー」として設け、習得した知識を定着させ活用させることで、思考力・判断力・表現力等の向上を図ることができる。 ③先人の姿を詳しく説明し、よりよい社会の実現を視野に課題を解決していこうとする態度を養うことができている。	①歴史の重要な流れを把握するための基本的な知識や概念、技能を学ぶことを目的としている。紙面はそれに合わせて構成されている。 ②各ページには、学んだ内容に関する質問があり、それに基づいてレポートや論述を書いたり、発表したりすることができる。これにより、言語活動に積極的に取り組むことができる。 ③教材は、生徒が主体的に学び、対話を通じて深い理解を得ることを促進している。また、社会的な出来事を自分の問題として捉え、主体的に判断し、行動する能力を育成するための工夫がなされている。
	(4) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章、各単元で主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①歴史について自分で考えたり対話したりして歴史の面白さを体験できる「チャレンジ歴史」というコーナーが設定されている。 ②他教科との横断的な視点で教育課程を組み立てることができるよう、教科書全体を通して関連のある教材を複数掲載している。 ③各時代を表現する活動が「学習の整理と活用」「アクティビティ」に掲載されている。 ④文化について代表的な事例を大きく取り上げており、その特色を広い視野から考えられるように配慮されている。 ⑤単元末の学習の整理と活用では、学習を振り返るとともに各時代の特色を捉えることができるアクティビティが設定されている。 ⑥小学校で学んだ人物・文化を再確認できるように構成されている。 ⑦「基本用語コーナー」では、歴史を理解する際に重要な用語を解説しており、生徒がすぐに確認できるようになっている。 ⑧資料には番号がつけられ解説がわかりやすく掲載されている。 ○ 時代像を具体的にイメージできる資料が掲載されており、興味関心をもてるように配慮されている。	①「歴史の言葉」コーナーがあり、生徒は偉人の言葉から当時の人々の思いなどを感じることができる。 ②教科間の連携を重視し、教科書全体で関連する教材を複数提供している。 ③各時代を活動で表現し、「学習の整理と活用」「アクティビティ」に掲載されている。 ④代表的な文化事例を取り上げ、広い視野から考えるための配慮がなされている。 ⑤単元末には、各時代の特色を捉えるアクティビティが設けられ、学習の振り返りが行われる。 ⑥小学校で学んだ内容が再確認できるように配慮されている。 ⑦「基本用語コーナー」では、重要な用語が解説され、生徒が簡単に参照できるようになっている。 ⑧資料は番号が付けられ、わかりやすい解説とともに掲載されている。 ○ 時代のイメージを具体的に伝える資料が提供され、生徒の興味を引くよう配慮されている。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①概ね良好である。 ②資料が豊富で飽きないように工夫されている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	①概ね良好である。 ②資料を配置することによって飽きないような工夫がなされている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。	
イ 教科・種目別の観点	①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①本文ページに「見方・考え方」のコーナーが設けられており、学習課題の解決に向けて手がかりとなる歴史的な見方・考え方の例が示されている。	①歴史の変化の中で生じた様々な課題がどのように解決され、蓄積されてきたかを学び、その時期、変遷、因果関係、そして違いを考えることで、歴史的な思考力を養う工夫をしている。
	②社会的な事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②グループでの話し合いや意見交換を通して、多面的・多角的に課題を考えることができる。	②歴史の変化の過程で生じた様々な課題が、どのような時代背景のもとで生まれ、どのような影響を与えたのかを考えられるよう工夫がなされている。
	③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③図版は、本文との関連が的確で、時代像を具体的にイメージできる資料が豊富に掲載されている。	③図版は本文と適切に関連付けられており、時代の様子を具体的にイメージできる資料が豊富に掲載されている。

	発行者の略号	育鵬社	学び舎
	書名	新しい日本の歴史	ともに学ぶ人間の歴史
ア 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①グローバル化の加速する時代に生きる生徒が、広い視野に立ちながら、日本人としての自覚をもって、国際社会で主体的に生きる資質・能力を育てる。	①指導的な人物だけでなく、さまざまな分野・階層の人々の生活や社会的な業績を叙述し、子どもが多く登場することで生徒の共感を呼び起こす。
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①生徒が幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培い、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを主眼としている。 ②「時期や年代」「推移」「比較」といった歴史的な見方・考え方を働かせるコーナーを設けて、歴史学習における思考力・判断力・表現力等を育む工夫がある。 ③国際関係や諸外国との文化交流について豊富な題材が用意してある。	①重要語句の太字をなくして主体的な学習を目指している。 ②授業実践の蓄積から、選りすぐった体験学習を紹介している。 ③世界、東アジアの記述を充実させ、日本と世界の歴史が相互にかかわっていることや、文化や生活の多様性に気づくことができる工夫がある。
	(4) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①人物や出来事をコラムで取り上げ、多角的な視点を紹介するなどしながら歴史学習への興味・関心や技能を育む工夫がされている。 ②我が国の伝統や文化の特色を身近に理解できる学習構成により、郷土の歴史への愛情を深められる内容。 ③自分の考えを発表するなど、多様な言語活動に取り組める内容。 ④伝統や文化について、その特色を幅広い角度から考えさせる豊富な資料を掲載している。 ⑤「歴史新聞をつくろう」では、作業的・体験的な学習により歴史への理解を深めることができるようになっている。 ⑥小学校で学習した内容を振り返りながら、時代の流れを俯瞰できる。 ⑦ICTを活用した学習を促す二次元コードが活用されている。 ⑧「歴史絵巻」を置き、各時代の歴史の大きな流れや特色を捉えるようにしている。	①時代の特色に沿った表現活動、「様々な人々へのインタビュー記事」を深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫がされている。 ②文化を生み出した人々の願いや社会の状況など、郷土の歴史への愛情を深められる内容。 ③学年に応じた表現・表記がされている。 ④文化遺産や作者の名前だけにとどまらず、文化を継承していった人々の営みなどが描きだされている。 ⑤「時代を大観する」では、自分の言葉で時代の特色を表現できるようにしている。 ⑥世界史を重視し、高等学校の「歴史総合」の学習へつながる内容になっている。 ⑦インターネットで文化財を見るなど、ICTを活用している。 ⑧大きく鮮明な図版で、一人ひとりの発見や疑問から授業が展開される内容。
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①単元構成は、学習指導要領の内容・区分に準拠して、学習しやすく配列されている。 ②図版、イラスト等の資料には正確を期し、本文の記述と関連付けて的確に掲示している。 ③文字は読みやすい大きさとし、常用漢字以外の漢字や固有名詞等、適宜ふりがなが振られている。	①単元構成は、学習指導要領の内容・区分に準拠して、学習しやすく配列されている。 ②図版、イラスト等の資料には正確を期し、本文の記述と関連付けて的確に掲示している。 ③ユニバーサルデザインに配慮し、色、線など見やすく工夫されている。	
イ 教科・種目別の観点	①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①キャラクターによる発問は、生徒たちが歴史的な見方や考え方を働かせるための視点を提供している。	①歴史を今日の課題と結びつけ、より良い社会の実現に向けて考えられる内容に工夫されている。
	②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②多面的・多角的な視点から、より広く、より深く学ぶことができるように、「歴史ビュー」「人物クローズアップ」などを設け対応している。	②章や部のまとめでは、テーマに応じて学習したことを比較したり関連させたりし、意見を交換して考えを深めている。
	③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③「課題をつかむ」→「課題について調べる」→「課題についてまとめる・表現する」という問題解決型の学習を進め、社会的な考え方を働かせることができるようになっている。	③「身をのりだして何か言いたくなる」「発見や疑問がたくさん出る」、そのような生徒の関心を引き出す図版や記述で構成されている。

	発行者の略号	令書	
	書名	国史教科書 第7版	
(ア) 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①「日本の歴史をつくってきた人々の姿」から未来を考えていけるような教科書づくり。	
	(7) 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①歴史の大きな流れを理解しやすい紙面構成で、歴史分野における基本的な知識や概念、技能の習得を目指し、特に天皇家の歴史を重視している。 ②見開きページには学習内容に関する設問があり、レポートや論述形式でまとめて発表する項目が設けられており、言語活動にも取り組めるようになっている。 ③生徒一人ひとりの「生きる力」を育むため、「主体的・対話的で深い学び」を実現する教材を配置し、「自分事」として捉え、主体的に判断し、行動できるよう工夫している。	
	(イ) 市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	各章、各単元に主体的・対話的で深い学びができる構成がなされている。	
	(ウ) 内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①資料を掲載することで、歴史における資料の重要性を学び、主体的に取り組める工夫がされている。 ②日本の領土問題や北方領土については地理的分野と関連付け、公的分野の主権者教育においても天皇家との関連を考慮している。 ③掲載されている難しい資料には同じページに解説や注をつけ、生徒の理解を助ける工夫がされている。 ④各時代の文化に関する記述が複数あり、文化の特色を考察しやすくする工夫がある。 ⑤体験活動を重視した学習の充実を図っている。 ⑥全体を通して、小学校で学んだ人物や歴史の知識を踏まえて学べるような記述になっており、色分けによって高校の「歴史総合」につながる部分であることを意識させている。 ⑦文献資料が多く掲載されており、調査活動を促進している。 ⑧本文が詳細に記述されているので、読むだけでも内容が理解できる構成になっており、資料には番号がつけられて解説がわかりやすく掲載されている。 ⑨各単元が、本文→コラムによる振り返り、という流れで統一されており、歴史や文化に関する理解を深めるための流れになっている。	
(イ) 分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①充実している。 ②資料を配置することによって飽きないような工夫がされている。 ③難しい漢字にはふりがなが振られている。		
(イ) 教科・種目別の観点	①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①歴史が変化する過程でおこる諸課題がどのように解決され、積み重なってきたのかを学び、時期・推移・因果関係・差異から考えることで、歴史的思考を養う工夫をしている。	
	②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②グループでの話し合いや意見交換を通して、多面的・多角的に課題を考えることができる。	
	③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③章のはじめには、その時代を意識できるイラストが掲載されており、生徒が時代を意識して課題を追究、解決できるような工夫がなされている。	